

6 高等部重複障害学級(はまなす学級)

(1) 高等部はまなす学級の役割

高等部はまなす学級では重度重複障害のある生徒を対象に、自立活動を中心とした教育課程を編成し、個々の実態に応じたきめ細やかな支援を目指す。高等部卒業後の進路に向け、いろいろな人と関わったり、個々の課題に繰り返し取り組んで「好きなこと」や「できること」を増やしたりする。

(2) 育てたい生徒像

- ①好きなことを見付け、できることを増やそうとする生徒
- ②見通しをもち、いろいろな人と関わりながら楽しく学校生活を送る生徒
- ③健康で明るい生活を営む生徒

(3) 学部運営の方針

- ①実態に応じてできることが増えるよう、教師間で支援方法などについて共通理解を図り、工夫する。
- ②生徒が自分なりの要求や気持ちを表現して、教師や友達と一緒に楽しく生活できるように、個別の支援方法を工夫・検討する。
- ③保護者や医療機関との連携を図ることで生徒の障害の状態、発達段階、健康状態を的確に把握し、健康で楽しい生活を送ることができるよう支援する。

(4) 努力事項

- ①生徒の実態を的確に把握し、個に応じたきめ細やかな支援に努める。
- ②学部学年学級間の交流や体験活動を通して、人間関係を形成する力を培う。
- ③保護者や医療機関との連携を密にし、健康課題を明らかにして有効な支援の手立てを探る。

(5) 学習指導

- ①各指導の形態とねらい

各指導の形態名及びねらい	学習集団
◆ 音楽 表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度を育てる。	学部縦割り
◆ 特別活動 学校・学部行事や交流及び共同学習を通して、望ましい人間関係を形成するとともに、自ら他者に働き掛けようとする積極的な態度を育む。	全校又は学部
◆ 自立活動 一人一人の生徒が自立を目指し、個別の指導計画を基に、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。 【けんこう】 ◎ 健康の保持 ○ 身体の動き ・音楽を聴きながらゆったりとマッサージし、体を伸ばして緊張をほぐす。 【かがやきタイム】 ◎ 環境の把握（触・嗅・味・前庭・固有覚） ○ 人間関係の形成 ・季節感を感じながら、様々な活動に取り組み、体験や興味・関心を広げる。 ・身体的な活動も取り入れ、様々なものに触れたり揺れたりして楽しむ。 【みる・きく】 ◎ 環境の把握（視・聴覚） ○ コミュニケーション ・紙芝居や絵本等の読み聞かせを通して、物語や映像、音、語り手とのやり取りを楽しむ。	個別又は学級
【こべつ】 ◎ 身体の動き ○ コミュニケーション ・ことば・かずや機能訓練など、必要な課題の改善・克服を目指す。 ※心理的な安定は、自立活動全般で取り入れる。	個別